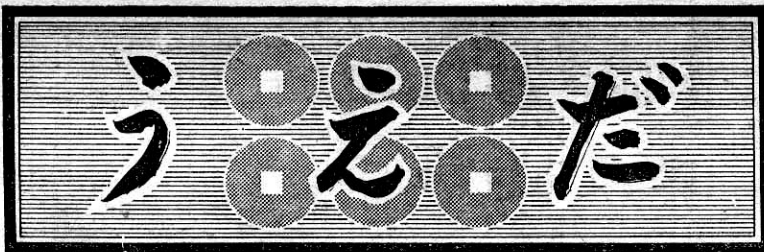


1972年刊

社団法人上田高等学校同窓会

関東支部会報



社団法人上田高等学校同窓会関東支部会報

12月2日

(土曜日)

1972

季刊

発行所 上田高等学校同窓会関東支部事務局 発行責任者 島田次郎 編集責任者 花岡善 埼玉県川口市並木町2-11-6 矢島路工務内 電話 0482-53-2662(代表) 題字は稲垣征夫氏筆

# 盛会！感激と親睦に終始

## 第十一回

### 関東支部大会報告記

夏の日差しが強かった。受付準備も整い、七月二日の晴大は同窓生の出席も順調に進められた。迎えた第十一回関東支部大会は、会場、受付が若手五期以下の大合唱準備員によって、万端漏なく布陣されている。一年ぶりの笑顔がやってくる。そこ、ここに久闊の握手も絶えない。何んとしても受付は休む暇もなく、出席者の応接に大奮である。恒例のウィークデーに開催されてきた本大会を、今回初めて日曜日に開催した。午後一時よりの受付開始である。受付を済ませた同窓生は会場へ。そこでは恩師であられた松浦武雄先生(昭和十九年より二十二年御在職)が、終戦前後に撮影された貴重な映画「上田中学の生徒生活のフィルム」をスクリーン。破衣破帽に腰の拭きが破かしく、更には、当時を偲んで会場内に嘆息がもれる。社会人になった長じた教えるの映画など、松浦先生

生の本日の御協力により深く申上げたい次第である。故郷より(27)柳沢同窓会本部理事長、(28)岩下母小学校校長先生始め、恩師各位、長野県高校同窓会連合会の東信、北信、中信、南信の各校同窓会代表の来賓諸氏そして我が同窓生の先輩、後輩が続きと参集する。時正に定刻の午後二時に及び、第一部は定期総会として開催された。今次大会準備委員長として尽力された(30)尾台副支部長の力強い開会の聲に始まり、校歌合唱に続いて(2)島田支部長の挨拶、会務会計報告とスミースミースに議事進行四十分で第一部終了。第二部の懇親宴会中に予定されていた来賓各位の御挨拶も、第一部に続いて行い、会場内のざわめきもなく、和気の中に来賓各位の御挨拶を拜聴する。柳沢理事長の名演作風の苦心談



写真上は支部長挨拶 中は同窓生の面々 下は受付風景

そして母校転校が改革の問題、岩下校長の母校近況御報告、各僚友校代表の祝詞等々、拍手と感動の中に一応の各氏挨拶も了る。少憩後、第三部の懇親宴会が開始された。(23)大森副支部長のユニークな含めた開宴の辞、会場の周囲に張りめぐらされた本日の記念手拭、六文銭の日本手拭が目にあきやかである。同門に学んだことだけで老若の友が、同郷の僚友校の来賓が、恩師を交えて、杯を上げての交歓は美しく輝く。校歌に賛歌し、そして応援歌と同窓生の天田舞踊である。一年一度のお祭りだ日 いみじくもいけるかな、それであっていい筈だ。肩を組んで、寸時上田の学窓が懐べたら、人生は楽しい。紅土色の染谷丘同窓会幹事各位の御光来は、楽しくあきやかである。米寿、喜寿の大先輩が、かくしやくとして壇上に腕を組み、意気軒昂を示してくる。芳らじと中年、若年輩の光りも相映する。野球部のOB会、柔剣会の面々が、ハンドボールの松岡君が、壇上にカゲ上つての熱演だ。太郎の案が島崎子の山が、今そこに響いている。感激の大会も終宴が近づいた。

張切つて同窓進行に心尽した(36)神野副幹事長の声もシワカレた。一同円陣をつくって信濃の国の大合唱となる。感激をこめて(28)坂井副支部長の閉会の辞が述べられた。蜜の光りの歌声で来賓各位を欲送る。楽しみのみにてありし、今第十一回の関東支部大会であった。最後に、再会を期し会員相互拍手をもって解散となった。子フレーズで行なわれた郷土訪問旅行は、主催が上田市役所、観光課であり、他に農協、水産、交通の各種団体の協賛もあって、すばらしい旅情の思い出参加者一同の心に止めさせてくれた。時や正に深緑の候、ふるさとの大地は青かった。千曲のツゲ場、高原のわらび狩り、古き伝統を秘めた山寺のモチつき、そして静寂な湯の町別所温泉の親親の宴等々。あらためてわがふるさとの情風を再見したいであった。 XXXX XXXX 衆望の音高まり、本秋十月、その第一回目の旅が計画された。秋には秋の詩情もあり、全山紅葉のふるさは、またえもいえず。 リンゴ狩りのさきさきと、観光課が確保しておいてくれたさきの狩りの大収穫、山間にひの毛せんが敷かれて、舌つみうちつ、食した今採つてきたばかりのきのこ汁、またまた晴天にめまれた第二回ノスタルジア信州の旅も、大成功であったといふべきであらう。 XXXX XXXX 観光上田の発足は既になされている。この第三回目の計画も、恒例の催しとしたい由でも、本紙第八号の発行にあたり、ふるさとを単立ち、関東地区に話やされる本会員諸氏、明春五月かかる計画のあるをお伝えし、当節御参加も如何かと、お誘いする次第である。 郷土上田市には校舎を有する各高校同窓生諸氏との交流もあり、車中に、散策に、宿泊に、一つの大きな交歓の旅でもある。 XXXX XXXX 『日時未定なるも五月下旬の土・日か、日・月の予定。会報第九号(五月中旬発行予定)に要項を掲載するか、また任各期代表幹事へ通知し、同窓各位の希望を尋ねるか、何れかの方法による。』以上の如く思案中であります。(文責・幹事長)

### 同輩・先輩・後輩

支部長(21) 島田次郎



子に事が連れた。これらのことは、ときどき、顔を合せている間柄だから当たり前といってしまうけれども、厄介なことを、気軽に引受けて貰えるなんて、何んともありがたいことだ。 この十月二十一日に、大正十一年卒の第二十一回同窓会を、別所温泉で開くことになった。丁度、卒業五十年になるので、在郷(二)一(一)在京(大土会)の同輩相寄り、一夜語り明かそうという趣向だ。いままら楽しんでほしい。 われわれは、もう一つの別の上中会をもっている。21回から24回までの有志二十四人が毎月一回定例目録集まり、杯を傾けて話合いのひとときをもつ。これまた宛会から十年になり、十一月には遠出をしようといつことになってい

坂館区内に借地を希望している人がいるので、早速、小須田辰雄君(23板橋区会議員)に電話した。一週間は経たないうちに、朗報があった。同君とは、毎月一回、垂糸会館に集まっている間柄だ。 事務局開設することになって、なかなか前途多難のようなので、同期の里見卓郎君(日本血液製剤協会専務理事)に相談したことがある。同君は早速、さる方を紹介して下さった。お蔭でトントン拍

る。この会の常任幹事は柳沢正春君(22支部幹事・幸陽船渠役員)を合せている間柄だから当たり前といってしまうけれども、厄介なことを、気軽に引受けて貰えるなんて、何んともありがたいことだ。 たしか、昭和四十三年だったと思ふ。時の、支部長清水菊三先輩(7)から一通の封書が届いた。副支部長になれという。わたくしは当時の副支部長稲垣征夫先輩(14)の後に有力候補がキラ星の如くおられるので先輩の教訓を推薦して「小生の如きはその任にあらず」として固辞した。ところが、その後の幹事会の席上で支部長から小生の手紙を読み上げられ、極力就任を迫られたが小生は固くまで固辞し続けたが、同席の勝俣裕嗣(8)に、「次郎ちゃんや宛に同封した。これは後期の幹事

### 年会費の納入について

(35) 石倉謙一

引が責任を以て同期会員の年会費納入を促進するの効果が有るだろうという幹事会の席上における意見に賛成したのであり、その文書の内容を要約すると次の様なものである。これは神野副幹事長の意見に借りのもので「年会費の送金手続は簡単な様ではあるが案外億劫なものであり、金がない訳ではないがつかつか忘れがちなものである。この様な事は自らやるまでもなく女房にやらせればよい。それ位の女房教育はしてある」という訳である。 所が実際に納入してくれたのはたった一名、その他の野郎共は女房の尻に敷かれてらしく、送金手続をさせる事が出来なかったものと判断した。船五十を過ぎてこの方法ならいくらすくなく野郎でも出来ないはずはないから早速猶更だ敷かれてはいる様不申並に実行して貰いたい。

### 第三回

#### ノスタルジア信州の旅

予 告

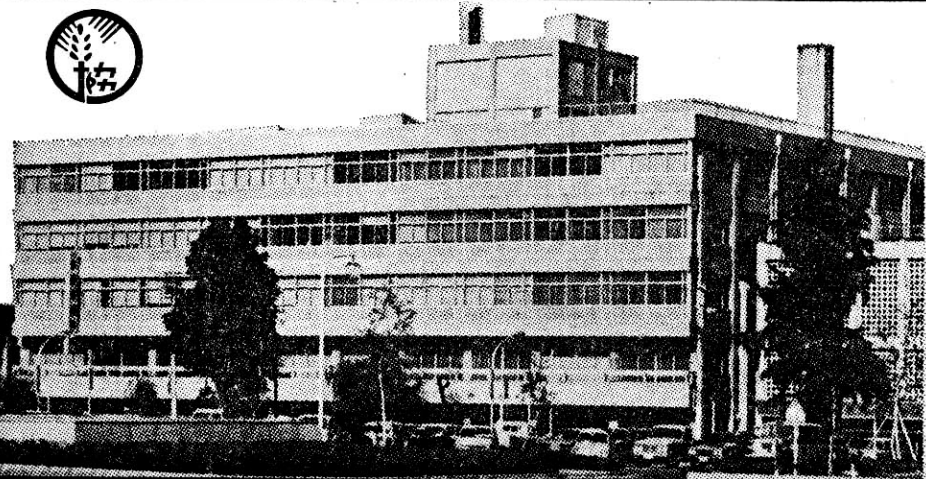


本紙第八号の発行にあたり、ふるさとを単立ち、関東地区に話やされる本会員諸氏、明春五月かかる計画のあるをお伝えし、当節御参加も如何かと、お誘いする次第である。 郷土上田市には校舎を有する各高校同窓生諸氏との交流もあり、車中に、散策に、宿泊に、一つの大きな交歓の旅でもある。 『日時未定なるも五月下旬の土・日か、日・月の予定。会報第九号(五月中旬発行予定)に要項を掲載するか、また任各期代表幹事へ通知し、同窓各位の希望を尋ねるか、何れかの方法による。』以上の如く思案中であります。(文責・幹事長)

長野県農業協同組合中央会  
長野県信用農業協同組合連合会  
長野県厚生農業協同組合連合会  
長野県共済農業協同組合連合会  
長野県拓植農業協同組合連合会

会長理事 龍中 敏

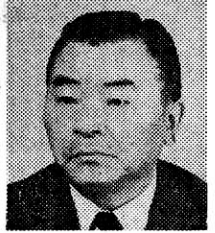
長野市大字南長野南県町687の2





土屋伍一君を偲ぶ

(28) 坂井実雄



土屋伍一君を偲ぶ
土屋君は上田中学校を卒業後、上野の音楽学校を受験したが失敗し、再度志望しつつ浅草の金龍館・オハラ座、新宿のムーラン・ルージュ有楽町の有楽座などで、エノケン一座、ロッパ一座のテナー歌手として活躍して居た。



終戦後は健康に恵まれず、本年四月二十五日午前十一時四十分、東京板橋区の大塚病院に入院加療中肝硬変のため六十二才にして此の世を去った。二十一日午後、二十七日杉並区下高井戸の寒野三男氏の自宅で三男氏喪主となり別式が盛大に取行われた。東京二八会でも花輪を御霊前にお供えした。ありし日の伍一ちゃんはお美声をきかせてくれたが今は冥土に於て「松雲閣演習智恵士」として声高らかに「信濃の国」などを歌って居られることと思う。御冥福を祈る。

寺島嘉文君急逝

(36) 神野勝男

寺島君が逝っちゃった
寺島君が逝っちゃった。背の高い、太った見からなら丈夫の容貌があった。中学三年のとき、陸上競技部に所属して来た。砲丸を投げた。試合になると、いつもあがって足のふるふるが止まらなかった。顔に似ない、気のいい男だった。十月二十日午前二時二十五分、長野連病院の室で、息をひきとって逝った。

土屋先輩と後輩

島君の訃をきいて

土屋先輩と寺島君の親しい関係に接し、悲しみも深い。私も在学中時陸上競技部のマネージャーをつとめた。土屋君は先輩がいて、私も卒業して浅草のオハラ座で、本格的な歌手として活躍している。寺島君にお会いした。母校後援部のことを話し合った記憶もあつた。

上田城

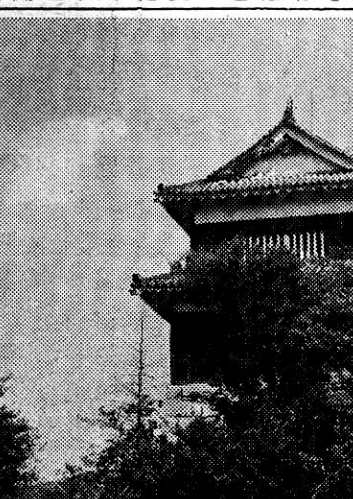
(13) 馬場友義

上田城は信濃國小県郡上田庄の尼ヶ淵城址の付近に真田安房守昌幸が天正十一年(一五八三)より三ヶ年を要して完成した平城である。城の西方にニヶ淵城を改修しての本丸の段丘下に特に深淵を掘り、城の東方に深淵を改修し、城下町と防火用水に充てることに、東部外郭を始め各曲輪の水濠に導き、更に北部外郭に大水濠を造った。戦國本位の要害堅固の平城であった。

関ヶ原合戦後真田昌幸、幸村父子が高野山麓九度山に配流となり、上田城は小諸城主仙石秀久及び松本城主小笠原政成がこれに請取られ、仙石、小笠原の両氏の外、森忠政、諏訪頼光、依田信守、依田盛繁、伴野真直等の諸大名が家臣を出してこれを守つたが、この城番の手に依つて土

寛永三年(一七〇六)仙石政明が但馬国山崎に移封し、代つて松平伊賀守忠房が山崎藩に入り、以来上田城はほとんど修築の手を加えられず、唯洪水のため崩れた石垣を修理した程度にすぎなかった。

寛永九年(一八四八)松平伊賀守忠房の時、本丸に五層の櫓を築き、これは火の見櫓といふべきものである。



去る七月に開催された関東野球連盟の練習試合には、その飛脚大会に、本部より柳沢理事長が来賓として出席されて祝賀が述べられた。市営球場を自田に使う事が出来たが、現在は市が広く一般に開放しているのが我が校が独占する。

母校の移転計画について

(35) 石倉謙一

文化財とも言ふべき武家屋敷の遺構である門、それに連なる築地塀、そして堀、それ等の背景として欠かす事の出来ない老杉等は、何れも真田六連銭に象徴される母校の伝統に最もふさわしい環境である。

綜合建設業
土木、建築、軌道
設計、施工、不動産業
資本金 10億円
創業 30年
東鉄工業株式会社
常務取締役営業本部長 尾台三吉(30期)

新設 各種美術工芸品展示即売場
購入出品に御利用下さい
株式会社 ヤシオ商事
常務取締役 井本公一(40期)
渋谷区神宮前3丁目30番11号(入一ビル)
電話 (402) 2078

堀内 税務事務所
税理士 堀内 茂雄(44回)
堀内 良幸(55回)
半田 嘉道(55回)
東京都墨田区業平4-9-3
TEL (625) 2291代
(出身地 小県郡真田町)



### 信州の秋

## 第二回ノスタルジア信州

### 「秋のリンゴとときのご狩り」

(掲載)

関東支部が発足して以来、年々とも各期にわたり各代表幹事の推薦も受けてきた。幹事相互の親睦も深めよう、とる昭和四十四年十一月、第一回の故郷及び母校訪問の旅が計画され、実行された。それが多大の成果を取り、その翌年、また昨年、と三回にわたり故郷訪問の旅がなされ、常に二十名前後参加、先輩後輩の幹事相互の心ふれ合いは、大きな結束へのあゆみも強められたことは事実であった。

そして今年……上田市も町村合併の機が及び、臨時町村合併の準備が進行中である。上田市の観光課も大きく前進し、別荘温泉を中心とした観光計画も立てられたのである。

上田市内に母校をもつ各東居に於ける同窓会員の有志の参加によつて本年の五月、その名も「ノスタルジア信州・春を食べる会」として実施された。参加者は、上田東高・千曲高・信大繊維学部・染谷丘高・上田高の以上五つの東京同窓会員の親睦もかねての旅であった。

参加六十五名、大成功裡に無事を終了した(当時の記録は前号参照)。

秋のふるさとも味合おうと、第二回目の一泊旅行が計画された。「ときのご狩り」に目標をおいたが、日程に制限もあり、十月六日(金)七日(土)の二日、上田市内に行なわれざるを得なかった。上田東高・千曲高の参加は、信大繊維学部・染谷丘高、そして我が関東支部会員の有志の面々、総勢五十一名の参加であった。

秋のふるさとも味合おうと、第二回目の一泊旅行が計画された。「ときのご狩り」に目標をおいたが、日程に制限もあり、十月六日(金)七日(土)の二日、上田市内に行なわれざるを得なかった。上田東高・千曲高の参加は、信大繊維学部・染谷丘高、そして我が関東支部会員の有志の面々、総勢五十一名の参加であった。

## 上野駅から別所まで

(一)上野駅より上野まで

昭和四十七年十月六日(金)の正午、東北、信越の玄関口、上野駅に六文銭の電車が、上野駅に六文銭の電車が、上野駅に六文銭の電車が……

コは一寸小さい、トットト、こぼれちゃったり、もったいねえちやよせんか、横川近くなると信州弁の調子もよくなる。

もう、ヘー、井井井井井、ホラ、上野駅まで来た、上野駅まで来た、上野駅まで来た……

## ノスタルジア信州

### 玉屋の一夜

玉屋旅館に泊ったのは、秋の夕べ、夕べの夕べ、夕べの夕べ……

船橋グループの部屋に、みんな集まる。テーブルの上には、さくら餅、お団子、茶碗蒸し、秋の味、秋の味……

秋の味、秋の味、秋の味……

## 旅の思い出

### 和泉屋「に集う」

信州の一行は、宿に到着。分宿用いたが、和泉屋「に集う」……

和泉屋「に集う」……

## 和泉屋「に集う」

和泉屋「に集う」……

和泉屋「に集う」……

## 和泉屋「に集う」

和泉屋「に集う」……

和泉屋「に集う」……

## 和泉屋「に集う」

和泉屋「に集う」……

和泉屋「に集う」……

## 和泉屋「に集う」

和泉屋「に集う」……

和泉屋「に集う」……

## 和泉屋「に集う」

和泉屋「に集う」……

和泉屋「に集う」……

## 和泉屋「に集う」

和泉屋「に集う」……

和泉屋「に集う」……

## 和泉屋「に集う」

和泉屋「に集う」……

和泉屋「に集う」……

## 上野駅後

### (31) 土屋 学

明日は、きのこの山と栗の山、誰一人として……

上野駅後……



長野県花・そば

#### 紹介して下さい

- 文字書見習い(20才以下)
- 信用ある代理店又は販売する人

小宮山 栄 (56期・小諸市)

豊島 区 駒 込 2-12-10 (TEL: (910) 8890 (仕事場) (915) 7359 (自宅))

#### ビル総合管理

清掃、警備、空調及電気  
ボーリング場 レーンメンテ  
メカニック、ビル改装、営繕工事

**土屋工業KK**

東京都 港区芝西久保広町29  
電話 (432) 4724 (代)

#### 建設機械

土木建設機械  
基礎工事用機械  
公害防止、省力化機械  
アースドリル、ベント工事

**日立建機特販店**  
**東京ブドーザ**  
(東ブル)

東京都 中央区新川2-11-1  
電話 (552) 1191 (代)

取締役社長 **土屋 二三男** (33期上田市)

# 国会で活躍する先輩

### (58) 赤池三男

十二月十三日衆議院が解散して、諸氏がこの会報を読まれる頃には、新議員が誕生していることと思ふ。さて、わが長野二区からはどの議員が選ばれるか、国権の最高機関である国会に参院して下さるか、興味深いところである。

日ごろ、諸先輩にお世話になっている身柄、きよくは、特に白亜の殿、国会で活躍する諸先輩を紹介しようと思ふ。

拙者は、政府側の連絡のため、国会議事堂へ入る機会を与えられており、多くの先輩の活躍を目の当たりに拝見し、感佩しているものである。ここに、それ等の人々を紹介するが、文中、敬称は省略していただく、また、卒業期が不詳は不明。

まず、松平忠久(21期) 上田市出身は言わずと知れた長野二区選出、当選六回のベテラン議員。社会党の中でも大物格である。野党ながら、物置閣等に関する特別委員会の委員長、名委員長ぶりを発揮された。

この松平の秘書の村田寛(51) 上田、国会議員秘書は与野党合せて、千人を超えるが、その秘書の中で、野党NO1といわれる優秀な人である。同窓生諸兄の中でもお世話になった人も多いのか。私もその一人で、この人との出合いが面白かった。

当時、私はこの先輩を知らなかった。松平議員が商工委員会で、一國銀行に質問があるというところ、議員の部屋に取材に行ったところ、お世話になっていた。

「松平先生は猪俣の先輩でして、私にどうして村田秘書が君は僕の後輩か」といふことで、初めて先輩と分った。自分の無知に恥じた次第である。それ以来、国会内のごときお世話の人々に出会っている。

十二月十三日衆議院が解散して、諸氏がこの会報を読まれる頃には、新議員が誕生していることと思ふ。さて、わが長野二区からはどの議員が選ばれるか、国権の最高機関である国会に参院して下さるか、興味深いところである。

日ごろ、諸先輩にお世話になっている身柄、きよくは、特に白亜の殿、国会で活躍する諸先輩を紹介しようと思ふ。

拙者は、政府側の連絡のため、国会議事堂へ入る機会を与えられており、多くの先輩の活躍を目の当たりに拝見し、感佩しているものである。ここに、それ等の人々を紹介するが、文中、敬称は省略していただく、また、卒業期が不詳は不明。

まず、松平忠久(21期) 上田市出身は言わずと知れた長野二区選出、当選六回のベテラン議員。社会党の中でも大物格である。野党ながら、物置閣等に関する特別委員会の委員長、名委員長ぶりを発揮された。

この松平の秘書の村田寛(51) 上田、国会議員秘書は与野党合せて、千人を超えるが、その秘書の中で、野党NO1といわれる優秀な人である。同窓生諸兄の中でもお世話になった人も多いのか。私もその一人で、この人との出合いが面白かった。

当時、私はこの先輩を知らなかった。松平議員が商工委員会で、一國銀行に質問があるというところ、お世話になっていた。

「松平先生は猪俣の先輩でして、私にどうして村田秘書が君は僕の後輩か」といふことで、初めて先輩と分った。自分の無知に恥じた次第である。それ以来、国会内のごときお世話の人々に出会っている。

## 上中三三會

### (33) 弘世弘信

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代的高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代的高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代的高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。



去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代の高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代の高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代の高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代の高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代の高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代の高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代の高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代の高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代の高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代の高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

去る8月5日上田市海野町近藤にて第10回地元、在京合同の藤原肉店を身替して近代の高層ビルと化し、会場であるビル4階の高級料理店「近藤」には先着の同期諸兄が思い思いに食卓を囲んで、もう話の花が咲いていました。

ネオン、プラスチック看板  
設計、製作工事  
**国際電飾工芸社**  
代表者 中村礼三 (32期)  
東京都杉並区成田西2-22の21 (〒166)  
TEL (398) 6045

160 東京都新宿区四谷二の九  
**信州小諸 専売店**  
山吹みそ  
田中ビル  
TEL 三五七五〇一五  
(36期) 伊藤東四次郎

小さな店です  
店の小さい事は恥かしいとは思いません  
誠実、思いやりの多い事は恥かしい事だと思ふ  
酒類、煙草、食料品、調味品  
銘柄も品数も少くともありません  
あたたかな人間味で溢れさせたいのです  
ビールは一つの銘柄  
アサヒビールに情熱のすべてを傾けたのです  
大変な事です  
大変な事だからやりたいのです  
幸村公は遠運の花と散りました  
然し上田高校のある限り  
そこを築いた人々の  
心の中に生き続ける事でしょう

**神野文藝学園**  
日本のお話を聞きたいので、目に見えない声にさやく、そんな人間作りの学園です。  
学園長 (36期) 神野勝男  
船橋市 前原 2-32-15  
電話 0474-74-0543

はじめに
去る六月八日早朝である。
次に送付内容と返信内容を御報

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

御通知に対し、その返信中に寄せられた近況報告、希望事項、質問など
事務局だより

（七面よりつづく）  
は認めさせていただきます。  
次回には、慎重に大会の進行も  
致したいと存じます。御批判を感  
謝申し上げます。

（八）会報編集についての質問  
が次の通りでありました。  
（本文）会報、毎度徹夜で編  
御苦労の御推察申し上げます。  
取材に当たって、勿論、時間的な  
制約があることは判りますが、寄  
稿者が偏在して、常に幹事の  
会報のようなきを御受けますが、  
如何でしょうか。  
（本文）何んとか一般の会員の新鮮な寄  
稿を望んでいるのは、小生だけで  
しょうか。苦言多謝。（40）小林  
郷司

答・これも仰せごもつもの感  
無きものでもない。常に広く会員  
諸氏からの寄稿を望んでいますが  
なかなか集らず新鮮さ薄くも  
知れませんが、一般の諸氏から  
寄稿願うべく苦言、編集委員から  
各期幹事に依頼し、幹事の協力を  
得て行けば、容易であると考え  
もいます。何れにせよ新鮮な寄  
稿の御助力を御願ひします。  
それから、幹事の原稿が多いと  
いうことは寄稿者が、たとえ毎回  
同一人であり、要はその内容  
が新鮮であり、会員全体に、知ら  
せたいことでもあれば、それも  
よいのではないかと、愚考してい  
ます。

御指摘を謝し、大いに編集上の  
参考意見として反省しています。  
原稿と同時に、各位の御指導を  
いただき、皆さんの御助力を御受け  
たいと思っております。

（九）次の各氏から近況や、  
住所変更による質問等ありました  
ので、ここに回答申し上げます。  
（本文）四月二十三日で満八十  
二歳となりました。至って健康。  
二歳となりまして、至って健康。  
般若心経を誦してあります。  
般若心経を誦してあります。  
般若心経を誦してあります。  
般若心経を誦してあります。

# 質問、近況、依頼等

## （続・前頁） 事務局だより

大先輩として次号第九号に、先  
輩の寄稿などを是非いたされたく  
存じます。後輩のため八十余年の  
歩み来られた人生訓などを、  
（本文）どうした問答か、小生  
第十二回の卒業生にもなっている  
が、貴君のように勤務の都合で  
他地区に移転される同窓生が、常  
に多いです。本所の住所お願ひし  
ます。  
（本文）転居つき関東支部会  
一、電〇三六二二一〇〇八八  
八

（一）左記の同窓会諸氏が逝去  
されました。ついでその御冥  
福を祈るとともに、御遺族御一統  
様に対し、心からおくやみ申し上げ  
ます。  
（21期）後藤 文夫  
（四十七年十一月四日別式）  
（23期）太田 善重郎  
（四十七年十一月四日別式）  
（28期）土屋 伍一  
（四十七年四月二日）  
（十一）郵便物戻り、折角にお送  
りされた会報が、次の各氏のもの  
は返送されてきました。同期または  
同窓会において、正しい住所  
御告知でしたら、事務所へお知ら  
せ下さい。  
（21期）清水 潤平、六期 吉野 慶  
九期 小島 隆雄、南川 房次、十四  
期 渡辺 英一、十七期 長沼 忠  
三井 千穂、十八期 松田 悦郎、

# 住所変更者

- 現住所変更のご通知があった  
氏を御紹介し、名簿等を御訂  
正下さい。  
（7）小林 豊、海老名市大谷  
四二四 〇四六一三二一六  
一九八（20）和田 斉、杉並区  
高井戸西の十六三八、三三三  
三二四六六七（22）柴 弘人  
大宮市東町一四九 〇四三三  
二四四七（29）町田 尚久、横  
浜市緑区鴨居三三三三三三二  
六〇二二五号、三九三三〇  
二九九（31）荒井 功、大和市  
下鶴岡三三三三三三三三三三三  
六五〇（32）滝沢 宏祐、長  
一四（44）南沢 次雄、渋谷区富

# 事務局日記

本年七月二日（日）第十一回の  
関東支部大会も盛会に終り、その  
後から、今回の第八号「うえ  
だ」を発行するまでの間に、お  
支部日誌の主なるものを列記し  
てみる。  
一、七月八日（土）午後三時より  
三福会館にて、長野県高等学校同  
窓会連合総会開催される。坂井副  
委員長、矢島幹事長、花園編集委  
員長等出席、県下四地区各同窓会  
代表者出席、本会の再編成もよ  
やくと、宣言文の朗読あり、各  
同窓会の在り方につき意見の交換  
を行う。  
二、八月三十日（水）幹事会兼大  
会反省会開催、出席四十一名。  
第十一回大会を省みて、次の各  
項目について大いに論議がつくさ  
れた。大会通知、返信内容、大会  
日の受付、総会、司会進行等につ  
いて。特に各個人別、会費納入  
状況の件について活発な各人の意  
見が出た。年費費現況が値上げか  
についてである。会計事務もむ  
づかしいため、この案次回につ  
く。



以上三十八名  
邦男、橋立浩、高橋正明、小山俊  
二、羽柴伸一、小林 雄、四八  
期 町田寛治、菅原英人、中沢研  
大橋正明、児玉剛、吉田正明、齊  
藤 康、中沢利男、大矢隆敏、河  
口大、後藤正一、四九期 堀内  
吉人、柳沢誠、赤羽弘好、新保  
吉人、青木喜久、成茂芳男、五  
十期 坂下重貴、菅原昌平、島津  
武次、永井功、掛川旭朗、小山  
邦介、柳沢明彦、竹村彦、山辺  
文雄、山田秀昭、堀内健二、五十  
一期 福沢謙時、中沢良行、成田  
康夫、高橋孝夫、橋本正幸、平島  
悟、土屋毅、小林 亮、五二期  
関登雄、井竹秀行、高橋帆、川村  
秀、箱山雅夫、飯島孝一、五三  
期 飯島秀也、佐藤美実、菅原弘  
小林昭美、岩間 小、小林 昭、保  
屋野悦男、梅村雅作、加藤孝雄、  
岩田久、潤澤康成、掛川康夫、西  
沢正一郎、小林 嘉、古平進、五  
十四期 清水 敏、宮崎 優、小林 裕  
郷、足立 忠、上原 謙、永井 水  
五十五期 沢田隆志、清水 晃、荒  
井 登、澤田 善、香掛 昌、久田  
辰夫、沼田 哲、高橋 保、町田  
義一、近藤 久、加藤 忠、小平 弘  
一、羽田正富、松原 勝、栗田 傑  
小泉 恒久、半田 光、五七期  
竹内真次、倉島伸司、松井 彦、  
滝沢 純夫、高橋 隆、宮入 英、和  
田 富雄、北沢 謙、佐藤 清治、中  
沢 啓司、土屋 隆、久松 寛、小  
林 和、中田 和、五八期 伊藤 謙  
太郎、小林 純、品川 勇一、小林

# 編集の後に

（50）半田編集長、  
一人上の仕事多忙から、五二期  
幹事及び編集長の辞任申出あり  
今春五月正式に願ひ辞任表明、止  
むなしく今日までの労を謝すると共  
に、この日再びそのカムバックに  
いつの日か再びそのカムバックに  
期待。（55）花園編集委員が病  
を得て八月の中旬入院、臨時に  
委員長及び編集長の役を引受け  
た。早速、編集委員会開催、若手  
幹事数名が夜半まで手伝って  
くれた。原稿の整理、清書、そし  
て不足分の獲得にまでつづす。  
手伝うという引っぱり出さ  
れて手伝われたという方が姿

### 店造りには御一報下さい、必ず役だつ準備が有ります。

株式会社  
**沖央インテリア総業**  
代表取締役  
**瀬下 昌孝** (旧名正利)  
56期  
東京都知事登録  
建設業者(わ)第73063号  
事務所 東京都台東区根岸3-6-21  
TEL(代)(874)8917~8  
自宅 船橋市三咲町4-2-1  
TEL(0474)48-0706

### みづほ

クラス会・ご商談・ご会合に  
ご利用のほどお待ち申し上げます  
割烹 **みづほ**  
東京都渋谷区恵比寿西2の2  
電話 461-8663

### 公認会計士 小林郷司事務所

公認会計士 小林 郷 司  
(税理士・中小企業診断員)  
事務所 〒101 千代田区神田鍛冶町3-3(共同ビル)電話(252)8801~2  
自宅 〒177 練馬区関町4-甲748-9 電話(902)6736  
(第40期)丸子町上丸子出身)